

全国国立大学附属学校PTA連合会 2018年度団体表彰エントリーシート

所属学校名	富山大学人間発達科学部附属幼稚園		
PTA名称	みどり会	会長名	坂林 聡子
応募部門	事業部門		
事例名称	ぬいぐるみ病院		

(活動内容)

みどり会では、富山大学医学部薬学部のサークル「国際医療研究会」と「小児科訪問サークル青い鳥」に所属する学生と連携し、全園児対象の保健指導と年長児対象のぬいぐるみ病院を毎年企画している。園児にとっては保健指導や本物の医療器具を使った問診ロールプレイを通して「医療に対する恐怖心を軽減し、親しみをもつ」「自分の身体や健康について関心を持つ」とともに、患者（ぬいぐるみ）へのいたわりや慈しみの心を養うことができ、また医学科、看護学科の学生にとっては子どもたちへの関わり方や、子どもたちの病気・健康に対する見方・感じ方・考え方を学ぶ研修の場ともなっており、園児と学生、双方にとって大変有意義な活動である。

当日は保健指導として全園児が手洗い指導を受けた後、年長児対象の問診ロールプレイが行われ、医学薬学部の学生が医師・看護師となり、園児は自分の大切にしているぬいぐるみを患者に見立て、診察の疑似体験を行った。子どもたちは「診察室」で学生とともに聴診器や注射器を使用したり、診断された後に薬を処方されたり、帰宅後の世話の仕方を教えてもらった。子どもたちは最初どことなく緊張の面持ちであったが、「診察室」を出るころにはどの子どももぬいぐるみを温かな表情で大事そうに抱えており、子どもたちの身近な者に対しての優しい気持ちが確実に育まれていることを実感した。さらに保護者からは子どもが風邪予防のために手洗いを積極的に行ってくれるようになったという声も聞かれており、今回の活動が子どもたちが自身の健康を守ることの大切さについて考え、そして実践することに繋がっていることを確信した。

今年度で13回目の開催となったぬいぐるみ病院であるが、日頃接点の少ない医学部薬学部と幼稚園との貴重な交流活動の機会となっており、今後もみどり会として大学と連携しながら継続していきたい活動である。



歌に合わせて  
手洗いゴシゴシ♪



お腹が痛いのかな？



どんな音が聴こえるかな？